



神奈川病院だより

第16号



独立行政法人 神奈川病院の理念 国立病院機構

基本理念：私たちは、地域の皆様から信頼される病院づくりに努め、常に新しく良質な医療の提供をいたします。

副院長挨拶 - 平成18年度の抱負 -

国立病院機構神奈川病院

副院長 加勢田 静

神奈川病院は平成16年4月に独立行政法人に移管しました。そこで、国立病院の使命としての結核・重心・成育医療などの政策医療を担っていく一方で、患者さんの目線に立った質の高い医療を提供するために職員一同一丸となってまいりました。

わたくしは移管後の16年6月に赴任しましたが、早速、専門領域である呼吸器外科の分野で14年手がけてきた内視鏡手術を実施できるような環境を整え、肺癌・自然気胸・多汗症などの呼吸器疾患に対する胸腔鏡手術を積極的に行っています。

また、内視鏡手術用の設備や器具の充実を図り、消化器外科では胆石などの良性疾患だけでなく、胃癌や大腸癌の腹腔鏡手術を積極的に行っています。

従来の開胸術や開腹術は体を真っ二つに切るような大きな傷で行われてきました。一方、内視鏡手術は、テレビモニターを見ながら穴を開けるだけでできるので、傷がはるかに小さいだけでなく痛みがはるかに少ないというメリットがあります。また、胸腔鏡手術では、肺癌の治療成績が開胸術に比べはるかに良好であることが分かっています。これは、傷が小さい分生体へのダメージが少なく免疫能が落ちないために、癌の再発が起りにくいと考えられています。

当院ではヘリカルCTによる肺癌検診を行っていますが、2cm以下で発見された早期肺癌は治癒率がほぼ100%です。

胸腔鏡手術症例はわたくしの赴任後倍増しましたが、これからはヘリカルCTと胸腔鏡手術を組み合わせることにより肺癌を100%治癒させることを目指して行きます。

当院は昭和14年に発足して以来、長年結核の治療に専念して参りましたが、昨年4月にわたくしが室長となって地域医療連携室を発足させ、外科だけでなく一般内科、小児科、整形外科などの患者さんを広く受け入れる体制を確立しました。今後、この地域医療連携室を中心として近隣の病院や診療所と密接な連絡を取りながら、地域医療に貢献して参りたいと思いますのでよろしくお願い申し上げます。



新4病棟開棟

副看護師長 古谷優子

亜急性期病床20床・一般病床20床の病棟です。

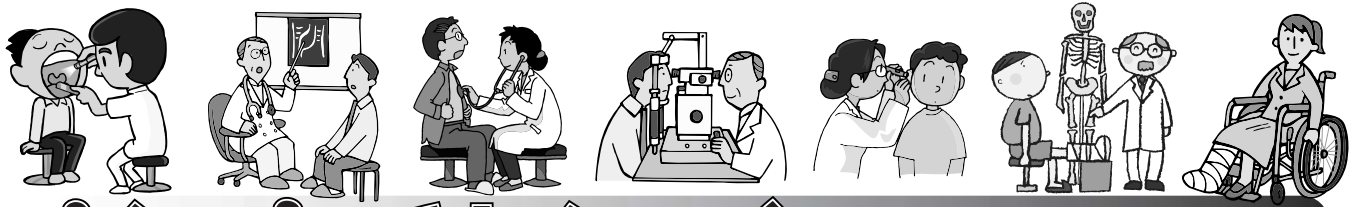
亜急性期病床 に入院される患者の在宅復帰を患者様個々のライフスタイルに応じた目標に向かって、私達看護師一同支援しています。

開棟当初は、亜急性期の看護の関わりについて不安でいっぱいだった私達ですが、
「骨折後にリハビリテーションを行い自信をつけて、元気に退院されて行かれた方」
「胃の手術後に食事が進まず腸ろう造設の予定だった方が、栄養科と相談し家族の協力も得て少しずつ食事摂取量を増し、自力摂取が可能となり無事退院された方」「脳梗塞後、徐々に反応が見えてきてシャワー浴時に「気持ちいいよ!」と会話ができるようになったり、患者様に満足して頂ける関わりができ、看護の不安が喜びに変わってきている今日このごろです。

一般には平均在院日数短縮といわれる中で、これからの季節、病室の窓から桜と富士山を眺めながら、「もう少しリハビリテーションを行い、ゆとりを持って自宅へ戻りたい」とお考えの患者様には最適な病棟です。

これからも引き続き、看護師の立場から、医師・理学療法士・作業療法士・栄養士・薬剤師・医療ソーシャルワーカー等の医療スタッフ間の連携をとって、適切な対応ができるように努めていきます。そして、患者様とのコミュニケーションを大切にして、明るく元気で開放感のある病棟づくりをめざします。





診療科紹介



整形外科



整形外科医長
山川 秀之

われわれ整形外科は、外傷（骨折、脱臼、捻挫・靱帯損傷、スポーツ障害等）、関節炎（変形性関節症、リウマチ、痛風等）、腰痛症（椎間板ヘルニア、脊柱管狭窄症、腰椎すべり症等）、肩こり、腱鞘炎、感染症、四肢の腫瘍など…日々、多種多様の病態を診療しております。

最近では高齢化社会に伴い、骨粗鬆症のために軽い転倒でも発生する骨折が多くなっており、とりわけ大腿骨頸部骨折は、全国的にここ15年間で約2.2倍に増加しており、当院でもこの骨折を多く扱っております。

大腿骨頸部という、太ももの股関節近くの部位で生じるこの骨折は、ほとんどの例で歩行困難となってしまう、寝たきりになってしまうと肺炎などの合併症を引き起こし、死亡する危険性が高くなります。そのため、たとえ90歳以上の超高年齢者でも手術することを前向きに考え、麻酔科医や内科医と連携をとり、できるだけ早期に安全に手術を受けられるように取り組んでいます。

近年技術的改善（器械・技量・経験）から手術時間の短縮・出血量の減少が、極めて進歩しております。当院では関節外の骨折（大腿骨転子部骨折）に対し、short femoral nail（ガンマ型）かsliding hip screw（CHS型）の金具を用いて骨接合術を行い、関節内骨折ではscrew type（CCHS、Hansson pin）又はCHSにて骨接合術を、関節内骨折でもズレ（転位）が著しく大腿骨頭壊死の危険性が高ければ人工骨頭挿入術を行っています。

リハビリテーションは入院時に計画を立て術前より始まります。手術後翌日より再開され、2日目には（人工骨頭挿入の場合4日目）車椅子に乗車し、さらに歩行練習へと進んでいきます。このように両下肢の筋力が衰えないうちに早期に手術・リハビリを行うことで、ねたきりが発生しないようにしております。また、最近では術後に肺梗塞の原因となる深部静脈血栓症などの合併症の予防対策を行っています。

将来こうした骨折を起こさず、また繰り返さないためにも、骨粗鬆症の治療が必要となります。整形外科外来にて、食生活・運動を主とした日常生活のアドバイス、骨密度・採血・骨吸収マーカーなどの検査、骨粗鬆症薬（ビオフォスフォネート剤、SERM、Vit.D、Vit.K、カルシウム剤）の処方やカルシトニン注射等、ご相談を受けながら、最新の技量と情報をもって医療サービスを提供できるように努めております。



リハビリテーション科

骨折のリハビリテーション

理学療法士 高橋 宏幸

当院では、整形外科、内科、呼吸器科、循環器科などの患者様や、重症心身障害児(者)の方などに理学療法士(PT)3人、作業療法士(OT)1人でリハビリテーション(リハビリ)を行っています。なかでも骨折患者様のリハビリは多く、2月はリハビリ実施患者様の約四分の一を占めています。



骨折後、患者様は医師の治療を受けます。その後、医師の指示を受け、リハビリが開始されます。リハビリの目的は、日常生活が支障なく送れるように、身体の動きに無駄や無理が生じないように、また再び転倒などをしないようにすることです。骨折（または手術）をした部分やその状態に応じ、看護師とも連携してリハビリを進めます。患者様の家庭や社会的状況なども考慮し、その上で、最適な運動療法や物理療法を行っています。徒手や器具を使い、弱くなる筋力を強化し、動きにくくなる関節の可動域を拡大し、またバランス能力を高めます。ボールを用いた運動を取り入れたりして、少しでも余計な痛みを出さないよう工夫をしながら行っています。

当院では多くの場合、手術後1、2日のうちにリハビリが開始されます。ほとんどの患者様が、手術をした後「もうリハビリやるの?」、ギプス固定中に「(リハビリで)やることあるの?」と質問や不安を口にされます。そんなときは「早期だからこそ、やらなければならないことがあるのです。」と答えています。大切なことは早期からリハビリで運動や指導・助言を適切に行うことだと考えています。特にご高齢の方は一日も早いリハビリの介入が必要です。



例えば手術後のリハビリは、侵襲した箇所の筋肉を動かして筋力の早い回復と、関節が固くなることを防ぎ、ギプスなどで関節が固定された場合はそのギプス内にある筋肉をうまく動かして、固くなってしまったり筋力が極端に低下することを防ぎます。加えて、皮膚の伸び縮みや、筋肉と筋肉間または筋肉と靱帯間などの滑り、神経の可動性なども考えて行います。

骨折のリハビリにはご本人の毎日の地道な努力が必要となります。私たちPT、OTも患者様と一緒にリハビリを行い、また、つらいリハビリの期間が少しでも次のステップに向けた有意義なものとなるよう応援したいと思っています。



地域医療連携室だより

平成18年4月号



12月より一般病棟が開棟しました 亜急性期病床20床(1月から)

外科系診療部長(4病棟医長)

草山 毅



昨年10月結核患者の減少や入院期間の短縮に伴って、100床あった結核病床が50床になり、空いた第4病棟に急性期の患者さんのための20床と亜急性期の患者さんのための20床(合計40床)の病棟が開きました。急性期20床は他病棟と同じように内科、外科などの患者さんを受け入れる混合病棟として機能し、残り20床は亜急性期の患者さんを受け入れることになりました。亜急性期の患者さんとは、手術や急性期の治療を終えすぐに退院するには不安がある患者さんを対象に自宅や介護老人保健施設、福祉施設等に帰るための準備として90日を限度として、精神的ケアやリハビリテーション、生活指導、内服、注射、酸素投与などの在宅医療及び看護医療の指導や管理を行うものです。具体的には、入院中まだ家での生活に不安があり、もう少し病院で治療を受けたい、また自宅にいても内科的疾患や身体的問題により生活するには不安がある場合など、入院して社会復帰のための治療を受けたい人が対象です。そのような場合にはいつでも当院の主治医に相談していただけたら対応させていただきます。



医療福祉相談室長

漆畑 真人



亜急性期の病床には、在宅復帰を支援する担当者がいます。みなさまが安心して在宅生活をお送りいただけるように、生活の環境を整えるお手伝いをします。具体的には、患者さんご本人の意向にそって、医療やリハビリと同時進行で、入院中に介護保険や社会福祉などの制度を活用できるようにお手伝いし、在宅での医療や看護、リハビリ、家事や介護、ご家族の負担軽減をはかる生活支援体制などで必要なサービスを整えます。よりよい暮らしを目指します。



〒257-8585

神奈川県秦野市落合666-1

独立行政法人 国立病院機構

神奈川病院 地域医療連携室

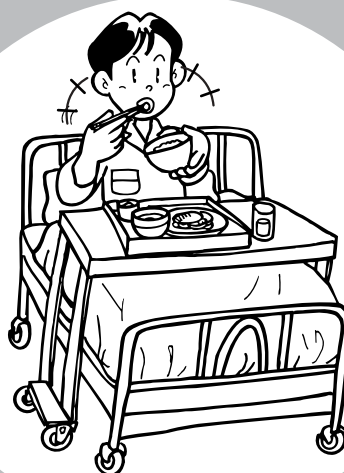
TEL 0463-81-1784(直通) FAX 0463-81-1785

Eメール: irenkei@kanagawa.hosp.go.jp

委託業者の紹介

食器洗淨

こんにちは。私たちは、食器洗淨及び盛り付け補助業務を担当しています。1日3度のお食事は、入院療養中の患者様にとっては、ささやかな楽しみのはず。清潔で安心な食器を用いて、より快適なお食事時間お過ごしいただけるように日々努力を重ね、調理師の方々に協力して参りたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。



職場紹介

企画課業務班

医事業務のご紹介

算定病歴係長 江口 貴之

独立行政法人化以降、企画課業務班の中に属しています。

医事業務は、病院の経営を支える診療収入を生み出す重要な部署になっています。

経営企画室長を筆頭に専門職、医事、算定・病歴両係長、病歴係のほかニチイ学館の方々が日々業務に励んでいます。

病院の中核になるところなので、各部署からさまざまな要望、意見が医事に集まってきます。毎日対応に追われ、慌しく日々が過ぎていきます。

この4月には診療報酬の改正があり、新しいルールにうまく適応しよりよい病院にするために職員一丸となってがんばっていきたいと思います。

ファックスコーナー

- 処方せんファックス送信サービス -

【重要】ご利用にあたっての注意事項。

★処方せんは個人情報にあたるためファックスの送信に関しては本人の同意が必要となります。

★処方せんの有効期間は発行日を含めて4日間です、期間内に薬を受け取って下さい。

Q. 何をしているところでしょうか？

A. ファックスコーナーは正面玄関近くにあり、秦野市薬剤師会より係員が派遣されており、院外処方せんを調剤薬局へのファックス送信に携わっています。現在、院外処方せんの発行を受けた患者様の約80%が当コーナーを利用されています。

Q. 事前にファックス送信をすることに利点、欠点がありますか？

A. ★利点は直接調剤薬局で受付をする場合よりも薬の待ち時間が短い
(患者様の到着までに調剤ができる)。

★欠点は送信した薬局へ行かざるを得ない事。

Q. 送信の費用はかかりますか？ A. 無料です。

Q. ファックスの操作が分からない

A. 操作を係員に依頼できます。薬局を決めて頂ければ大丈夫です。



薬局の選び方

★取りに行くのに便利な薬局を選ぶ。(近郊の地図も用意してあります)

★業務終了の時間がまちまちなので薬を取りに行く時間を優先して選ぶ。

★他の医療機関より類似した薬が処方されてもすぐに処方されてもすぐに分かるように、なるべくは同じ薬局の利用をおすすめします。

—————以上が簡単なファックスコーナーの紹介です。ご質問ある方は当院薬剤科で承っています。

最後になりますが、くれぐれも処方せんを紛失なさらないように気を付けて下さい。

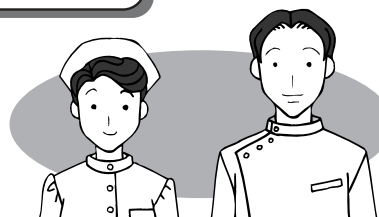
看護師募集

～ホームページも是非ご覧下さい～

<http://www.hosp.go.jp/~kanagawa>

- 資格 看護師免許を取得の方。
- 時間 1) 3交替制 ※日勤のみも応相談
2) パート (実働6h)
- 給与 1) 190,000円～260,000円以上 (別途手当あり)
2) 時給1,520円
- 休日 4週8休制、有給、夏季、年末年始、慶弔
- 待遇 社保完備、寮完備 ※車通勤可
- 交通 小田急線秦野駅 バス15分「神奈川病院」バス停下車
- 応募 電話連絡の上、履歴書(写真貼付)、免許証持参ください。
- その他 ご不明な点がございましたら、当院看護部長室または管理課までご連絡下さい。

国立病院機構神奈川病院
(代表) 0463-81-1771
看護部長室(内線) 2004
管理課(内線) 2121



まもなく待望のMRI装置が導入されます！

★MRI（核磁気共鳴画像）とは… 診療放射線技師長 杉尾 敏憲

強力な磁石と電磁波により体内の水素原子の位置や反応を解析する装置です。このため、放射線を使わずに体内の状態や形態を把握して画像表示することができます。

★MRI検査の特徴は…

MRI検査は、脳梗塞・脳動脈瘤・脳腫瘍・椎間板ヘルニア・靱帯断裂・肝臓ガン・膵臓ガンの発見に適しています。また泌尿器科領域や婦人科領域にも威力を発揮します。従来の検査だけでなくMRI検査も組み合わせることで診断能の向上に大いに活躍することでしょう。

★稼動予定…

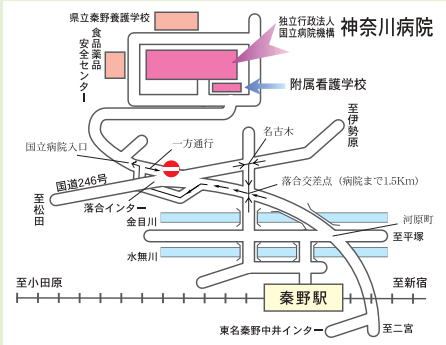
2006年7月頃です。まもなく据付などの工事を開始することとなり、ご迷惑をおかけしますが何卒よろしくお願いいたします。

★装置の概観… PHILIPS社 Intera Achieva 1.5T 超電導磁気共鳴診断装置



各科診療担当医表 平成18年4月1日現在						
科別	曜日	月	火	水	木	金
一般外来	総合内科	松岡	鈴木 前島	松岡	鈴木 前島	松岡
	腎臓内科		前島		前島	
	循環器内科	亀崎	吉田	松崎(秀)	亀崎	吉田
	呼吸器内科	大久保	西海	西海	布施川	大久保
	消化器内科	齊藤	鈴木		鈴木	
	リウマチ内科	松岡		松岡		松岡
	神経内科			森田		大友
	心療内科	松崎(淳)	松崎(淳)	松崎(淳)		松崎(淳)
	精神科					
	小児科	若山	若山	大萬 野木	渡辺	若山
	アレルギー科 (小児)	若山 渡辺 13:30~15:30(予約のみ)	若山	渡辺	渡辺	萬木
	外科	櫻井	当番制	徳原	当番制	櫻井
	消化器外科	櫻井		徳原		櫻井
	呼吸器外科	加勢田		加勢田 (予約のみ) 柿崎		加勢田 柿崎
	脳神経外科				市来寄	
特殊外来	整形外科	草山 第1・3・5週 山川・武石 第2・4週 山本	山川 高見澤	草山 (武石) 装具 外来	山川 高見澤	武石 午前10時~ 高見澤
	リウマチ外科	草山	山川	草山	山川	武石
	泌尿器科		金尾			田野口
	皮膚科			横山		
	小児科(肥満)	若山				
特殊外来	小児科(神経)	(午後)大野				
	成育心身医療科	松崎(淳)	松崎(淳)	松崎(淳)		松崎(淳)

案内図



小田急線「秦野駅」下車
神奈川中バス4番乗場
「国立神奈川病院」行
終点(所要時間約15分)

※車利用
東名高速道路「秦野中井」
より約10分

◎矢印の方向へお進み下さい。
●は進入出来ません。

編集後記

神奈川病院便りでは、今後もより一層皆様に楽しく読んで頂きたいとスタッフ一同頑張っております。「こんな記事が読みたい」「こんな記事を読んでもらいたい」などがありましたらご意見をお寄せ下さい。お待ちしております。

編集担当者

統括責任者：市来寄 潔
発行責任者：加勢田 静
編集責任者：三浦 正明
編集：細入 憲
田中 彩矢子

野本 伊江子
越後 朋彦 高見 育子
成尾 友美 栗原 洋子